

【バイノーラル】

イチャラブ健診！後輩ナースにいつぱい採られて

脚本 小桜ひび

発売 RADIO ERO

【登場人物】

向あかり (22)

健診センターの看護師。主人公の高校の後輩

トラック1 密着！ 身体計測

◆健診センター（身体計測をする部屋）

あかり 「受付番号二十五番の方ですね」

あかり 「あれえ？」

あかり 「やつば、先輩だ！ 名前でひよつとしたらと思つたけど……。

向あかりって覚えてないですか？ テニス部で一年後輩だったた……」

あかり 「高校卒業以来ですよね！ ふふ、美人ナースになつてたから、わからなかつたかなあ？」

あかり 「やーん、偶然だとしてもほんと、うれしい！」

今日は張り切つてお仕事しちゃいますっ」

あかり 「まず、身長から測りますね。靴を脱いで、台に乗つてください」

あかり 「先輩、背が高くて、見えないなあ……。ちょっと、椅子に乗りりますね」

あかり 「んしょっ！ ふふ、先輩を見下ろすの初めて」

あかり 「よしよし」

あかり 「先輩の頭撫でる機会なんてないから貴重です。ふふ」

あかり 「ねえ、先輩、覚えてますう？ 褒めるとき、

あたしの頭、ナデナデしてくれましたよね」

あかり 「練習中は厳しいとい」もあつたけど。上手にできたらちゃんと褒めてくれて……」「

あかり 「ふふっ。がんばってるとい」ちゃんと見ててくれたんですね。ナデナデされるの、すい（）くうれしかったんですよお？だからあ……ナデナデのお返しですう」「

あかり 「ふふ、先輩の耳、こんなに近くで見るの、初めて。おいしそう」

あかり 「んー、おいしい……。やわらかくてマシュマロみたい」

あかり 「耳の中もおいしそう……ちゅつ、ちゅる……。ふふっ、先輩、今びくっとしました？」

あかり 「うふふ、……かわいい」

あかり 「まあて、と。ちゃんと仕事もしなくちゃね。ええと……（メモをする）」

あかり 「ん、しようと。はい、次は体重です。今度はこっちに乗ってください」

あかり 「はい、OKです。」

あかり 「あれえ？ 去年より増えてます。ちゃんと栄養管理してますか。おなかでちやつてたりして。ふふ、見せてください」

あかり 「うふふ、たくましい腹筋ですね。これなら大丈夫！」

じやあ、このまま腹部まわりを測ります。少しづボンをずらしてください」

あかり 「もつちよつと下かな……。あれ、違うな……。ちょっと下着下ろしますね」

あかり 「ん、この辺……つと。……あ……」

あかり

「パンツ下げすぎて、先っぽ見えちやつた」

あかり

「うふふ、ついでに……おちゃんちゃんもはかっちゃいましょうか！」

あかり

「ちよつとくらゐ遊んでください、先輩。一日中、検査してたら息が詰まっちゃいます。ね、お願い」

あかり

「先輩、優しいから可愛い後輩の頼み、聞いてくれますよね。ふふつ。では、下を全部脱いで、座高計に座つてください」

あかり

「リラックスしてくださいね。まずは、茎ま・わ・り」

あかり

「ふふ、太くて立派ですね。色も健康的！ では、長さも測りましょう」

あかり

「わ、長い！ おつきくなつたら子宮まで届きそう……」

あかり

「まだ、終わつてませんよ。次は最大サイズを測ります。勃起してください♡」

あかり

「血圧だつて最低と最高を測るでしょ？ さ、大きくしましょ。ふふつ。どうやつたら、先輩の……大きくなるのかな？」

あかり

「じゃあ……まず、竿を上下に」すこすこしてみますね」

あかり

「うふふ、大きくなあれ、大きくなあれ……」すこすこすこ

あかり

「うわあ……。先輩のおちんちん、どんどん上、向いていくう」

あかり

「まだ、おつきくなりますよね？ どんどんどんどん大きくなれ。

あ、先っぽが濡れてきた。竿にも塗り付けちゃえ。」

あかり 「ぬりぬり……ぬりぬり。ふふ、オイルマッサージみたい。おちゃんぽエステつてどこかな？」

「ふふふ、このくらいがマックスかなあ？　じやあ、そろそろ……
先輩のおちんちん……あかりのおまんこで測らせてください」

「あん、パンツびしょびしょで、なかなか脱げない……。んしょ」

「はい、完成しましたあ！　おちんぽ測定器です」

「ふふ、四つん這いだと、あかりの濡れ濡れまんこ……よく見えるでしょ？
ハハ）はあ……たゞいま先輩専用のおちんぽ測定器となつております。
もつと、よく見えるように広げますね……」

「さあ先輩……後ろから測定対象のおちんちん、入れてください……」

「あ、あ……ん……、す……い、太いのずぶずぶ入ってくるう……」

「動かないで……。先輩の……おちんぽを……中で測定しますう」

「ああんつ、ダメえ、おつきぐしたら、サイズわからんない……」

「次はあ……長さ測るから、奥まで……突いてください……」

「ああん……そのままあ……奥にいて……。先輩のおちんぽ、長くて太くて……。
やん……つ、す……い……あかりの子宮まで届いたやう」

「あ……り……。もつと、奥があるの……？…………あん……。
気持ちよくて……測定不能ですう……」

「ああ……つ。おまんこ汁いっぱい出てきて……溶けちゃいますう……。
もう、動いてください……。あかりのおまんこ、ぐちやぐちやに
かき回して、中出ししてえ……」

あかり 「……つ、先輩のおちんぽ、すゞ」おい……つ……」

あかり 「や……ん！ そんなに激しくしちゃ、すぐイッちゃう……！」

あかり 「また、おつきくなつたあ……つ！ 先輩のマックスつてまだなのお？」

あかり 「やんつ、すぐ出したら嫌ですう……つ。もっと、ゆっくりあかりのおまんこを味わつてください……」

あかり 「ん……つ……ぐりぐり、いいですう……。カリがいいとい」
いつぱい当たるの……つ。浅いといも 好きい……！」

あかり 「あ……奥にきたあ……つ。あん……つ、エツチな音すゞ」おい……」

あかり 「やん……つ、おまんこ泡立つてるよお……！」

あかり 「ああん！ そんなにぐちゅぐちゅされたら、あかりのおまんこ壊れちゃう……！」

あかり 「やんつ、やめないでえ……つ、もつと激しくて大丈夫だからあ……つ！」

あかり 「……あ……つ。奥……気持ちよすぎて、ダメえ……！」

あかり 「……つ。はあ……んつ……ひあ……」

あかり 「先輩も、もう……イキそう……つ？ 一緒に……！」

あかり 「あかりの子宮に、いっぱい先輩のザーメンかけてください……！」

あかり 「イッちやう……あ、あ、あ……！」

あかり 「あああ——ん……！」

あかり 「はあつ、はあつ」

あかり 「やんつ」

あかり 「もう、抜いやうんですかあ？もつちよつと余韻ほしいなあ……」

あかり 「でも、お仕事ですもんね。さ、記録……あ、先輩のザーメン、
おまんこからもれてきちゃった……」

あかり 「あ、じゃあ……」

あかり 「先輩のは、長くて太くて一杯精液が出る、優良おちんちん……」

あかり 「なーんてね。ふふつ。ほんとに書いてないですってば。さあてど。
次はX線検査でーす。一度出て、呼ばれたら部屋に入つてくださいね」

トラック2 中身を拝見します 胸部X線検査

◆健診センター（胸部X線検査をする部屋）

あかり 「ふふっ、こっちの部屋にもいで、びっくりしました？

今日は、先輩の担当をする」とになりました。よろしくお願ひします」

あかり 「でも、ごめんなさい。技師が遅れてるの」

あかり 「だから、準備して、少し待つてください」

あかり 「まづは……シャツ、脱がなきゃですね」

あかり 「あかりにボタン、はずさせてください……」

あかり 「ん……できた。シャツ、脱がしますね」

あかり 「こうして脱がしてると、奥さんみたいでうれしいな。ふふっ。

アンダーシャツも脱いでくださいね。ばんざーいして？」

あかり 「では、機械の前に立ってください。高さを調節します」

あかり 「ふふっ、低いけど、今はこれくらいでいいんです」

あかり 「じゃあ、腰を落として、機械にしつかり密着してください」

あかり 「ん。もっと、ひとつ、とくついてください。機械が冷たいかな。
じゃあ……」うして

あかり 「あかりがあ……背中をあつためてあげる♡」

あかり 「ふふ、おっぱいが気になる?」

あかり 「さつき、ブラジャー取っちゃった。これで前ボタンを外したら……」

あかり 「ふふ、わかる? あかりのナマおっぱいですよ?」

あかり 「機械の高さ、低くてちょうどいいでしょ?」

おっぱいが先輩の背中にあたる高さなの……。ぐにぐに動かすと……

あかり 「ああん……肩甲骨が乳首に当たって……感しちゃう……」

あかり 「おっぱいマッサージ、気持ちいい?」

あかり 「やん、あたしの方が気持ちよくなっちゃいそうですぅ……。乳首、膨らんできちゃった……」

あかり 「ねえ、先輩……あたし今、パンツはいてないんですよ……。白衣の下は生まれたままの姿なの……」

あかり 「振り向いちやだめですよ。手は腰に当ててくださいね」

あかり 「ぜーつたいに動いたら、ダメですよ?」

あかり 「ちゅぱ……、ちゅ、ちゅ……やっぱり先輩の耳、いい形……」

あかり 「動いたらダメですってばあ……。放射線は危ないんですよ……でもお……右耳は敏感なのわかつちゃいました。ふふつ。じゃあ……左耳はどうかな」

あかり 「ちゅるつ、ちゅ、ちゅぱつ……」つちもよさひそうですう。はあはあ言つてますよ? ふふつ。じゃあ、今度は……」

あかり

「んふつ……耳の中も好きですかあ？ ふふ、ビクビクしてゐる……。
先輩、ほんと耳弱いんですねえ……」

トラック3 しつかり見てて！ 視力検査

◆健診センター（視力検査をする部屋）

あかり 「ふう。ちよつと、見えにくくなつてきたかな。機械から目を離して、休憩しましようか」

あかり 「あたしも座つて休憩しちゃお」

あかり 「のんびりしていいですよ。高校の先輩だから、いっぱい話すかもつて主任に頼んだの。実は……好きな人ですって、言つちやつた、えへへ……」

あかり 「あ、高校のときの話ですよ？ でも、久しぶりに会えたらやっぱり嬉しい…。ふふっ。なんか、恥ずかしくなつてきちゃつた。変なの」

あかり 「今日はもっと、恥ずかしいことしてるのに……」

あかり 「ふふっ。さあて。視力検査もかねて、気分転換にクイズでもしようかな」「さあ、あかりのナマおっぱい……よーく見てください。ホクロ、何個あるでしょうか？」

あかり 「触つていいですから、確かめてください。まずは、おっぱいの谷間に隠れそなと」…

あかり 「ふふ、どうですか？ そのまま胸、むにつと広げて」

あかり 「んつ……乳輪のところを見つけました？ ジヤア、ちゃんと確かめて？」

あかり 「これは視力検査です。だから、しつかり見てください」

あかり

「ふふ、あかりのふわふわおっぱい……触つたら変わるんですよ?」

あかり

「あん……むにゅむにゅしたらあ……乳首ふくらんじやいましたあ……」

あかり

「やん……、いきなり乳首つまんだら、ダメエ……ッ」

あかり

「そんなにいじつたらエッチな色になっちゃう……」

あかり

「ああん……、ぐにくにされるの好きい……」

あかり

「もう……つ。『んな』としてたら……ホクロの数、わかんないよお?

そうだ。あたしも数えちゃおつかな」

あかり

「ふふつ。ぐる」にしよう。見えにくじといふ……。太ももがいいかなあ?」

あかり

「じやあ……ズボン、脱いでください」

あかり

「内もも……あ、ひとつ見つけましたよ? 右足の真ん中……。それから、もうひとつ。足の方……。付け根のあたりはどうかな……」

あかり
「付け根にもひとつ見つけた…。ふふ。もっと、隠れてるとこにあるんじやないかなあ……。おちんちん、持ち上げないとわかんないとい」とか

あかり

「ふふつ、持ち上げなくても、上向いてるじゃないですかあ。
あかりのおっぱい、触りながらこんなにしてたんですか?」

あかり

「先輩、かわいい。おちんぽ、なでなでしちゃう。」

あかり

「よしよし、いい子」

あかり

「いやーん、反り返っちゃった。あ……うふふつ、パンツに染みができますう。
さつきいっぱい出したばっかりなのに……」

あかり

「撫でたらじゅわーって広がってきますね……。

なんだかパンツの中で苦しそう……。ふふ、出してあげますね」

あかり

「んふ。身体測定のときより、大きく見える。気のせいかなあ」

あかり

「目分量じやわからないから……おまんこで確かめなきや」

あかり

「先輩におっぱい触つてもらつたから、もう、準備できてるの……。
このまま乗っちゃうね」

あかり

「すゞ」おい……こんなに、大きかつたつけ……？ まだ、入つちやう……
入つてくるう……」

あかり

「すゞ」おい……こんなに、大きかつたつけ……？ まだ、入つちやう……
あかり

あかり

「ダメエツ！ 動いたら、サイズわかんないよう……！」

あかり

「あん、もうつ。あせらないでくださいってばあ。今日のあかりは……
先輩の担当なんです。おまんこも、おっぱいも……ゆ一つくり味わう時間は
ありますからあ……」

あかり

「でもお……一応これは、視力検査の続きですからあ……
おひぱい、触つたらどうなるか……見てね」

あかり

「ああんつ、乳首いきなりべるべるしちゃうのお……つ。あ……反対の乳首も
くにくにされたら……おまんこ、きゅんきゅんしちやいます……」

あかり

「……乳首……もつといやらしくぶくらんできましたあ……。
先輩のつぱでぬらぬらとしてます……。それからあ……」

あかり

「ほら、先輩とつながってるとい」見てください……」

あかり

「うふふ……濡れ濡れですう……。広げるから、もつと見て……」

あかり 「……つ。先輩のみつちり入つてゐるから……そんなんに広がらないけど……」

あかり 「赤くて、ぬらぬらしますね……。ふふ、いやらしいですう……」

あかり 「じゃあ、今度はあたしが動くから、見ててくださいね……」

あかり 「……つ……。はう……つ……やつぱり先輩のおちんぽ、深くまで
入りますう……」

あかり 「……つ……ああ……んつ……気持ちいい……」

あかり 「先輩……しつかり見でますか……？ あたしの中、先輩の形に広がつたり
縮まつたり……つ、しますよお…、あ、あ、あんつ…」

あかり 「……あん！ クリ、ダメエ……」

あかり 「気持ちよすぎてダメなのが……つ。あんつ……ふくらんでるう……。
もつと見て……いやらしいとい、いっぱい……」

あかり 「あんつ、クリ、引つ張り出しちゃうの……？ びしょびしょで……
すゞくエツチ……ツ……」

あかり 「……つ。急にそんな……突き上げられた……」

あかり 「あ、あ、あ、あんつ……はあ……つ……先輩……もう、見てる余裕……
ない……ですね……つ。でも、あかりのいやらしい顔は……
見てください……」

あかり 「あんつ……、乱暴なおちんぽ、好きい……つ。奥、いっぱい突いてえ……」

あかり 「ちゅ、じゅるつ……んんふ……つ……。はあ……つ、あ、あ……んつ」

あかり 「先輩……いまの……キス……ッ。どうい……」

あかり 「あふ……つ……はあ……つ」

あかり 「先輩と……初めてのキス……」

あかり 「あんつ……激し……つ。あ、あ、あつ……先輩……もう、イっちゃうつ……」

あかり 「先輩も……イキそうですね……つ……でも……つ、お願い……キスしながらイキたいですう……」

あかり 「じゅる、ちゅ、んふ……つ……んん——つ……」

あかり 「んふ、あ、あ——つ」

あかり 「はあつ、はあつ……」

あかり 「ねえ、先輩……」

あかり 「あかりのイキ顔、しつかり目に焼き付けました……? ふふ……つ」

あかり 「あたしは先輩のイク顔、好き……」

あかり 「抜きたくないけど……つ」

あかり 「まだ、検査は続くから」

あかり 「次は心電図です」

あかり

「ああ、でも……先輩のキス……びっくり……。あたしが不整脈起
こしそうでしたあ……」

トライック4 ドキドキしてゐるよ? 心電図

◆健診センター（心電図をとる部屋）

あかり 「力抜いて、リラックスしてくださいね」

あかり 「はい……いいですよ。お疲れさまです。電極をとるので、そのままお待ちください」

あかり 「これで全部はずれましたね」

あかり 「あ、まだ起き上がりでください」

あかり 「ふふ、まだ、終わってないですよ。今のは安静時の心電図。不整脈とか、心臓の筋肉の動きを調べたの」

あかり 「でも、今から調べるのは……」

あかり 「安静じゃないときの状態を調べます、ふふつ」

あかり 「まず、胸に耳をつけて、直接鼓動を聞きます」

あかり 「ん……ちよつと速いですね」

あかり 「でも、まだ安静の範囲内です。それでは、乳首をなめてみましよう

あかり 「んふつ……べろべろ……ちゅ、ちゅ……、じゅるり……うふふ、立つてきましたけど、感じてるつてほどじゃないかなあ？じゃあ、同時に反対の左の乳首を指でぐにぐにしたら……」

あかり 「あ、ビクツとしましたね。胸の鼓動は、と……」

あかり 「さつきより速いですよ？ 男の人でも、乳首感じちゃうんですね」

あかり 「でも、もつと……ドキドキしないとダメです……」

あかり 「でもお……今日はいっぱい出しましたし……。疲れちゃったかな？」

じやあ、先輩は……ただ、リラックスしていくください」

あかり 「横になっているだけで、何もしなくていいです。勃起したら抜いてあげますし。しないなら、それでかまいません」

あかり 「ちゅ、ちゅつ、じゅるつ……ずっと興奮しているのも、疲れますよね。んふ……い」

あかり 「あかりが……じゅるつ、先輩をドキドキさせるつもりでしたけど……。横になつて、ゆつくりしましよう」

あかり 「ふふ、先輩が、耳舐め好きなのわかっちゃつたから……、た一つぶりなめてあげます、う」

あかり 「ん……反対も、可愛がつてあげなきや……」

あかり 「ちゅ、んふつ……じゅる……つ。乳首もたつぱりいじつてあげますね……。つまんでえ……くらくらつ……つて、ふふつ」

あかり 「ん…………乳首、さつきよつぱいくらいふくらひんでます……。ぐりぐりすると気持ちいいです、う……」

あかり 「先輩……ビクビクしてる……。また、興奮してきちゃつたのかなあ？」

あかり 「鼓動の音は、と」

あかり 「ふふ、明らかに安静時と違います」

あかり 「おちんちんは……半勃ちってど」ろでしようか？」

あかり 「いいんですよ？ フル勃起しなくても。

ただ、あかりがこうして先輩と過ごしたいだけなんですから」

あかり 「だつて……」に先輩がいることが奇跡ですもん。でも、検査が終わったら……」

あかり 「ううん、いまはこうして先輩を見ているだけで幸せです。

勃起しなくていいから、触らせてくださいね」

あかり 「やわらかいおちんちんを入れるのは無理だけど、こうして」

あかり 「腰、前後に振つてえ、おちんぽとおまんこをコスコスするだけでも……
あん……気持ちいいですう……」

あかり 「は……う……つ、クリトリスが先輩の先っぽに当たるの……いい……」

あかり 「や、あ……んつ……クリとおまんこが一緒に、二つで……
たまらないよお……。あん……おまんこ汁で、先輩のおちんぽ、
びしょびしょですう……」

あかり 「あん……先輩の硬くなつてきたあ……」

あかり 「先輩も気持ちよくなつてきらやつたの？ ふふ、うれしいですう」

あかり 「あん、ビンビンのおちんぽ、先っぽが入つちやう……つ」

あかり 「ねえ……先輩……全部入れたいですう……」

あかり 「先輩のおつきいおちんぽで、中」すらせて……あ……入つちや……」

「あ、あ……つ……す」おい……。あかりのおまん、「

先輩の形覚えちゃってる……。勝手にぐぶぐぶ入つていいくの……」

あかり 「あん……奥まで入つちゃいましたあ……」

あかり 「ふふ、先輩のおちんちん……大好きい……」

あかり 「もちろん、おちんちんだけじゃないですよお？」

でもお……あんまり言つて困らせたくないもん……」

あかり 「いまは……頭からっぽにして、あかりのおまんこでドキドキしてへださい」

あかり 「先輩は動かなくていいですかね……。あたしが、ゼーんぶしてあげる……」

あかり 「鼓動のチエックもしなきや……」

あかり 「ふふ、ドキドキも速くなつてますね。動きと連動してるのがなあ……」

あかり 「先輩の乳首、コリコリ。ふふ、なめなめしたくなつちやう……」

あかり 「ちゅ、じゅるつ……じゅつ……おいしいですう……上のお口も……下のお口も先輩をたつぱり味わえるなんてえ……」

あかり 「先輩……おちんぽ、感じてますかあ？ あかりのいいとこばつか、当てるからあ……」

あかり 「ふふ、先輩の大好きな耳舐めも一緒にしますね」

あかり 「ちゅるつ……じゅつ……ん……つ、ねえ、先輩……さつき……キス……

してくれたじゃないですかあ……」

あかり 「ちゅぱ……、ちゅ、あれ、うれしかったですう」

あかり 「なんかあ……キスって特別な気がするの……。だから、まさか先輩からしてくれるなんて…。今度はあかりから サせてね」

あかり 「んふう……つ……ちゅ、ちゅ……」

あかり 「先輩のつば…どうしてこんなにおいしいのお…。もつと、ちようだい……つ」

あかり 「ん、ん、んふつ……はあつ……じゆるつ」

あかり 「キスしてるど、おまんこからじゅわじゅわエッチなお汁があふれて
きちゃつた……先輩、感じる？」

あかり 「あんっ、も……我慢できない……腰、動いて止まらないよお……。
先輩のせいで、あかりエッチになつちやつたあ……つ」

あかり 「もつと奥がいいのお……つ」

あかり 「ああん……つ、イキそうだけど……つ、もどかしいの……なんでつ」

あかり 「やあん……つ。先輩が突くと、深いとこに入つちやう……つ」

あかり 「ああんっ……そこ、いい……つ。いつぱい突いてえ……」

あかり 「ああんっ、子宮に響いて……つ……、あかり、おかしくなつちやう……つ」

あかり 「あ、あ、あ……んつ……なんか、くるよお……つ」

あかり 「ああ……つ」

「先輩、精液出てる……っ、奥、びゅるびゅる感じるよおつ……」

「先輩、精液出てる……っ、奥、びゅる
も、ダメ、イッちやう…………」

あかり
「あ
」

あかり 「あ、あん……っ」

あかり 「はあつ、はあつ……」

「おまんこから出でるの、いっぱい溢れてる……」

あかり 「ま、イケます。ふふ」

あかり 「さあ、次は血圧検査です。ちょっと休んでから測りましょ

高血圧の結果が出そうですから。ふふっ」

トラック5 キツめに絞めちやう♪ 血圧測定

◆健診センター（血圧をとる部屋）

あかり 「んー……上がるちょっと高めだけじ、血圧は正常の範囲内ですね。
お疲れさまでした。圧迫帯、とりますね」

あかり 「血圧は毎日変わるから、あまり気にしなくていいですよ。

でも、塩分を控えたりして、普段の食生活に気を付けてくださいね」

あかり 「でも、栄養状態を、簡単にチェックする方法があります」

あかり 「しかも結果は今すぐわかります。やってみましょうか」

あかり 「じゃあまず……おちゃんちゃんを出してください♡」

あかり 「ふふ、精液の味で、食べたものがわかるんですよ」

あかり 「んふふ、ふにやちゃんも、かわいい♡」

あかり 「先輩……今日いろいろしたけど、フエラチオはしていない気づいてますう？」

あたし、楽しみはとつておくタイプなんです。ふふつ。

まず、どーからせめよつかな……。裏筋、かな」

あかり 「んふ……ああ、やつぱり素敵……。これが……あかりのおまんこを
可愛がってくれたおちゃんちゃん……」

あかり 「ちゅ、じゅる……つ、ちゅつちゅ……ふう……。ん……ちょっとだけ、
芯ができてきたかなあ……」

あかり 「んふ……つ……ちゅ、ちゅぱつ……ん……しょっぱいですね、ふふ」

あかり

「じゅるるつ……ん……ちよつとだけ、先走りがでてるかも。

カウパーっておしつこと同じ成分だから、しょっぱいんですね」

あかり

「いやん、あかり、先輩のおしつ飲んでるのぉ?」

あかり

「ふふっ、先輩のだつたら、なんでもおいしい……。おしつ」だつて
ぜーんぶ飲んじやいますけどお……。ほんとは白くてうるところのザーメンを
飲みたいの……」

あかり

「んふふ……硬くなつてきましたよ? 等をシコシコしてえ……あかりの
お口の中に……」

あかり

「んふ……んんつ……あかり、あんまり上手じやないかもだけ」……」

あかり
「あん、太くなつてきた……。よかつた、気持ちよくなつてくれてる……。
やん、お口に全部はいらない……」

あかり 「ん……しょっぱいお汁……いっぱい出】てきましたあ……」

あかり
「じゅるじゅるつ……。ん……塩分過多ですねえ……これはラーメン……
とんこつでしようかあ?」

あかり 「あかり、ザーメンソムリエになれるかも。なんてね、ふふっ」

あかり 「おちんぽ、すっかり上を向きましたね。精液、まだ残つてゐかなあ」

あかり 「たまたま……まだ、入つてそ�ですよ?」

あかり 「じゅうちゅ、ちゅるつ……んふつ……ふふ……たまたま、気持ちいい?」

あかり 「おちんぽつらそう……。これならイケるかも」

あかり 「じゃあ、いっぱい飲ませてくださいね」

あかり 「ふつ、んん……じゅふつ…じゅふつ」

あかり 「先輩、腰動かしていいですか……」

あかり 「んふつ……ん、ん、苦し……んふつ」

あかり 「いやあ……やめないで……。大丈夫だから、乱暴に喉奥まで突いてえ……」

あかり 「ん、んんつ……はあ……つ、じゅる……」

あかり 「ん、ん、ん——」

あかり 「ん、ぐ……、うくんつ……」

あかり 「う)ぼつ……う)ほつ」

あかり 「けほ……、大丈夫です。すうい勢いで出るんだもん……」

びっくりしちゃつた……」

あかり 「でも、全部飲めましたよ？ ほめてください」

あかり 「ふふ、先輩のザーメン……おいしかった……。けど、塩分は控えめにしてくださいね。ふふ」

あかり 「さて……次の検査は採血かあ……。これで最後です」

トラック6 いっぱい採れたね☆ 採血

◆健診センター（採血する部屋）

あかり 「どうぞ。前に座つてください。今日は血液を採取して、おしまいです」

あかり 「あーあ、これで最後あ……なんか、ひみしいです……」

あかり 「でも、最後はあかりの看護師らしいところ、見せちゃうね。こう見えて、採血得意なの。どっちの腕がいいかな？」

あかり 「左ですね。二の腕に駆血帶くけつたいを巻きます。」

あかり 「んしょ。痛くないですか？ 手を握つてください。ふふっ、先輩の血管、わかりやすいですね。あ、ふくらんできました。では、消毒をして……ふふ、怖がらないでください。あたし上手ですから。でも、最初はちくつとしますよ？」

あかり 「血液検査の結果は、ちょっと時間がかかります。送られてくるまで、待つててください」

あかり 「ふふ、もちろん、これで終わりませんよ？ あかりと先輩の秘密の採血はこれからです♡」

あかり 「もうすでに先輩の精液、いっぱい搾り取っちゃったけど……。まだ、イケますよね」

あかり 「じゃあ、秘密の採血、はじめましょうか」

あかり 「あたしの方を向いてください」

あかり

「採血だから、駆血帯がいりますね。包帯でいいかな……」

あかり

「んしょ。おちんちんの根元を、ちょっとだけしばりました。採血ですから」

あかり

「血管が浮き出でくるかなあ？　まだふにやふにやしてるから……、

固くしないとね。あたしのおっぱいで、シコシコしてあげます♡」

あかり

「うふふ、おっぱい気持ちいい？　皿がところんとしてますよ?..」

あかり

「ふふ、ちよつと上、向いてきた……」

あかり

「ん、おちんぽ、顔にあたつちゃう。先輩の……長いんだもん……」

あかり

「(ハイギリしながら) ん……どくべくべく……。やるやめるのは
血管……?」

あかり

「ふふ、いやらしい音がしてきましたね？　包帯、軽く巻いてただけだから、
エツチなお汁でびしょびしょですう……」

あかり

「ふふ、おちんちん、苦しそう……。包帯はあ、どうしようかな。
びちゃびちゃだし、とつちやしましょう」

あかり

「ん。もう、ダメですよう。我慢汁、こんなに出しちゃ……。
この中にも精液、混ざってるのにい……。もつたいないですう」

あかり

「じゅるじゅるつ……」

あかり

「ん、おいしい……。」うちのベッドで採血しましょっか」

あかり

「ふふ、仰向けに寝転んでください。楽にしててくださいね」

あかり 「ちくつとしますよー。なんて……」

あかり 「ん……ちく……じやなくて、じんじんするう……」

あかり 「あん……。あたしのおまんこ……先輩のおちんちんをすっかり、気に入っていますね、ふふ……。わかります？」

動かなくても……吸い付いて、きゅうきゅうするの……抱きしめてるみたい……」

あかり 「先輩が辛いだけですね……。じゃあ、採血はじめまーす♡」

あかり 「あん……、ん……はあつ……先輩のお注射の先っぽ、いいいい、ひつかいちやう……」

あかり 「ああん……。先輩の、また、おつきべ……」

あかり 「ああんっ！ あかりの中、きゅうきゅうするっ！ 先輩のおちんぽ絞ってるみたい……」

あかり 「先輩のいつぱいちようだい……。精液、子宮にびゆるびゆるかけてほしいのお……」

あかり 「こんなこと初めてえ……。先輩のこと考えてたら、

おまんこじんじんしちやうて……腰ふいちやうの……」

あかり 「だつて……ずつと、好きだつたんだもん……。ほんとにほんとに、好きなんだもん！」

あかり 「先輩……」

あかり 「ちゅ、じゅるつ……んふつ」

あかり 「先輩のキス……好きい……。舌もつとレロレロしてえ。んふ……」

あかり 「先輩……」^{ハフ}して見下ろされるの初めて……ドキドキしちゃう……」

あかり 「あん……つ……。おまんこからいつけ、あふれてる……」
「これ、あたしのエッチなお汁？ それとも先輩の？」

あかり 「あ、あんつ…、あたしと先輩のお汁がまざつて……」
「……ぐずぐずなお……つ。とけちやいそう……」

あかり 「ああんつ、先輩の、もつと奥にお注射してください……」

あかり 「やん……つ……そんな、奥……子宮に響いちやうつ……」

あかり 「おまんこビクビクして…勝手に先輩のおちんぽ締め付けて……」

あかり 「ああん……そんなに激しくしたら……ダメエ……ツ。
まだ、イキたくないよう……」

あかり 「やあ……つ、もう、無理い……」

あかり 「先輩……ツ……、一緒にイつてえ……」

あかり 「たつぷり精液、子宮にかけちゃつてください……」

あかり 「や……あ、あ、あ————————」

あかり 「あ、あ……奥、先輩の、いっぱい……」

あかり 「あんつ……。すごいい……。おまんこ見てください」

あかり

「精液いっぱい採れましたあ……。」

やん、あふれてもつたいないよお。あ……そそうだ」

あかり
「先輩、そこのビーカー取つてもらえますか?」

あかり
「ふふ、どのくらい採れたかなあ?」

あかり
「んんっ……。ビーカーの中、見て見て。こんなにたまりますう……ふふっ」

あかり
「これで、終わりかあ……」

あかり
「ほんと先輩に会えてうれしかったです。」

来年の健診のときには『指名くださいね、なーんて。ふふ』

あかり
「さてと。このあとは受付です。説明もあたしがするから、待つてくださいね」

トラック7 検査結果は後日にな♥

◆健診センター（受付）

あかり 「受付番号二十五番の方、3番カウンターまでお越しください」

あかり 「お疲れ様でした。結果は2週間くらいで届くと思います。
こちら、住所、お間違いないですか？」

あかり 「今日はこれで終わりです。診断結果によつては生活習慣など、
指導もしていますから、ぜひ活用ください」

あかり 「でも……あたしと付き合つたら……自宅で指導できますよ？」

あかり 「もちろん、タダで。しかも……もれなくバランスのとれた食事も
ついてきます」

あかり 「ふふっ、味は保証します。あと、運動指導もできます」

あかり 「一緒にテニスしたり……。夜もベッドの上で、たーっぷりカロリー消費……」

あかり 「お得だと思つんですけど……どう、かな……」

あかり 「え……先輩……付き合つてくれるの？？」

あかり 「めんなさい、先輩。あれ？ 恋人だから……先輩つておかしいか。

じやあ……これからは、下の名前で呼ぶ練習しますね。ふふっ」

(了)